

一定の投資性金融商品の販売に係る

重要情報シート(個別商品編)

投資信託

1.商品等の内容(当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています)

金融商品の名称・種類	ひふみプラス
組成会社(運用会社)	レオス・キャピタルワークス株式会社
販売委託元	レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品の目的・機能	【当金融商品の目的】 受益者の長期的な資産形成に貢献するために、円貨での信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、ひふみ投信マザーファンドの受益証券を通じて国内外の株式に投資することにより積極運用を行ないます。 【機能】 ・国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。 ・株式の組入比率は状況に応じて変化します。(現金等比率を最大50%未満まで保有することが可能な仕組みです。)
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	・元本割れリスクを許容する方 ・中長期での資産形成を目的とする方 例えば －株式の成長を期待したいとお考えの方 －つみたてによる資産形成をお考えの方 －投資を通じて未来をゆたかにしたいとお考えの方
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	金融商品取引法第37条6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

(質問例)

- ① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- ② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個別の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2.リスクと運用実績(本商品は、円建の元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)

損失が生じるリスクの内容	・当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としているため、市場や為替の動きによる価格変動のほか、投資先などの破綻や債務不履行による影響を受け、元本欠損が生じる可能性があります。 ・当ファンドの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。詳しくは目論見書をご覧ください。 「価格変動リスク」「流動性リスク」「信用リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク(エマージング市場に関わるリスク)」
〔参考〕 過去1年の収益率	14.2%(2025年9月末現在)
〔参考〕 過去5年の収益率	平均9.8% 最低-18.1%(2022年9月末) 最高47.4%(2021年3月末)(2020年10月～2025年9月の各月末における直近1年間の値を表示しております。)

※ 損失リスクの内容の詳細は交付目論見書のP5、運用実績の詳細は交付目論見書のP7に記載しています。

(質問例)

- ④ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ⑤ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3.費用(本商品の購入または保有には、費用が発生します)

購入時に支払う費用(販売手数料など)	お申し込み手数料はかかりません。 ※ 本商品はオンライントレードでのみご購入いただけます。 ※ オンライントレードの1回あたりの約定金額上限は3,000万円です。
継続的に支払う費用(信託報酬など)	信託報酬は、ファンドの純資産総額に対して年率1.0780%(税抜年率0.9800%)を上限として乗じて得た額。純資産総額が一定金額に達すると、一定金額を超えた部分に対して信託報酬が逓減される仕組みとなっています。その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。
運用成果に応じた費用(成功報酬など)	ありません。

※ 上記以外に生じる費用を含めた詳細は交付目論見書のP9に記載しています。

(質問例)

- ⑥ 私がこの商品に〇〇万円投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
⑦ 費用が安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。
⑧ 上記費用について、何の対価か説明してほしい。

4.換金・解約の条件(本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります)

この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還の場合があります。

この商品をお客様が換金・解約しようとする場合の手数料や信託財産留保額はあります。

金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、換金・解約ができないことがあります。

※ 詳細は交付目論見書のP8に記載しています。

(質問例)

- ⑨ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5.当社の利益とお客様の利益が反する可能性

当社がお客様にこの商品を販売した場合、当社は、お客様が支払う費用(販売手数料、信託報酬等の名目を記載)のうち、組成会社等からファンドの純資産総額に対して年率0.5005%(税抜年率0.4550%)を上限として手数料を頂きます。これは運用報告書等各種書類の提供等、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。

当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別な関係はありません。

当社の営業員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※ 利益相反管理方針の概要については、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.82sec.co.jp/info/images/conflict.pdf>



(質問例)

- ⑩ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6.租税の概要(NISA成長投資枠、NISAつみたて投資枠、iDeCoの対象が否かもご確認ください)

分配時: 配当所得として課税(普通分配金に対して20.315%)

換金(解約)時及び償還時: 譲渡所得として課税(換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%)

NISA成長投資枠対象商品です。(当社ではiDeCoの取扱いはございません)

※ 上記は個人投資家の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

※ 法人の場合は上記と異なります。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※ 詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

7.その他参考情報(契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください)

当社が作成した目論見書補完書面	【該当銘柄のURL】 https://www.82sec.co.jp/product/images/materials/reosu_1.pdf ※ PDF形式で掲載しています。 ※ オンライントレードのお客さまはお取引の画面上でもご確認いただけます。	
組成会社(運用会社)が作成した交付目論見書	【該当銘柄のURL】 https://ficom2.artis-as.jp/a736563383/documents/9C311125/kk ※ PDF形式で掲載しています。 ※ オンライントレードのお客さまはお取引の画面上でもご確認いただけます。	

※ 交付目論見書、目論見書補完書面、重要情報シートは、ご希望がございましたら紙でもお渡します。

【お願い】 各項目の下部にある(質問例)のように、ご不明点や疑問点については担当の営業員にお尋ねください。

2025年12月13日